

三ツ星ベルトの金属屋根防水改修用アクリルゴム系塗膜防水材

ネオ・コート AG



人を想い、
地球を想う

三ツ星ベルト株式会社



三ツ星ベルトの金属屋根防水改修用アクリルゴム系塗膜防水材

ネオ・コート AG

特 長

耐久性に優れた環境にやさしいアクリルゴムを主成分とした塗膜防水材です。

防水性

シームレス・高耐久

- 耐久性にすぐれた防水材です
- シームレスな防水層を形成します
- 特殊プライマーにより錆の進行を防ぎます

施工性

1液タイプ

- 1液タイプなので混合作業が不要です
- 手刷毛、ローラー刷毛を用いて簡単に施工できます

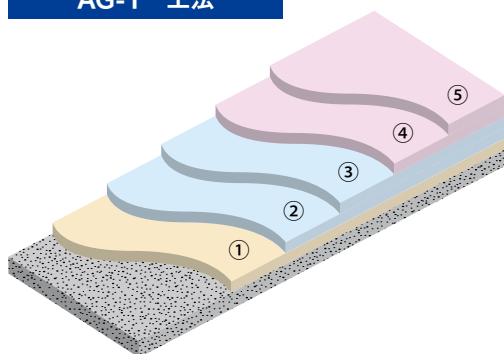
安全性

水性材料

- 施工に火気は使用しません
- 環境に配慮した水性材料です

仕 様

AG-1 工法



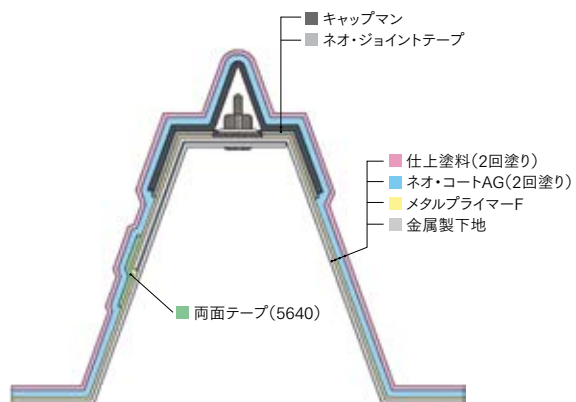
工程	使用材料	標準塗布量(kg/m ²)	
⑤仕上塗料2	AGトップコート(上塗り)	0.8	0.4
④仕上塗料1	AGトップコート(下塗り)		0.4
③防水本体2	ネオ・コートAG	1.6	0.8
②防水本体1	ネオ・コートAG		0.8
①プライマー	メタルプライマーF	0.1	

※仕上塗料にAGトップコートNを使用する場合の標準塗布量は0.3kg/m²(0.15+0.15kg/m²)

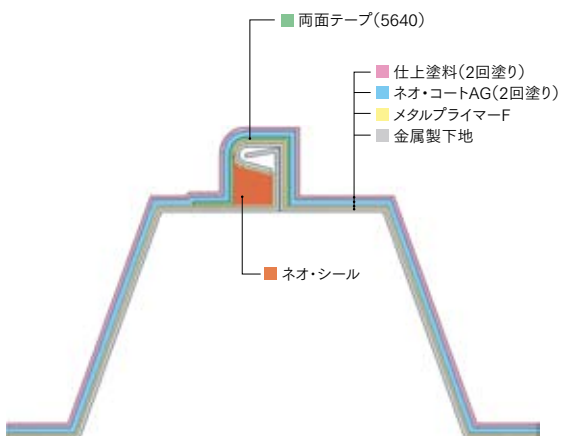


納まり紹介

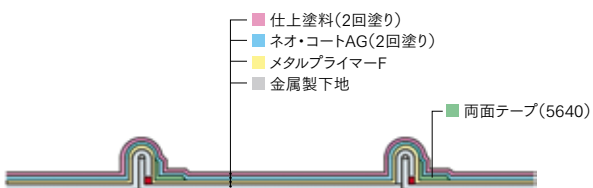
下地: 金属屋根 (ボルト式折板)



下地: 金属屋根 (丸ハゼ折板)



下地: 金属屋根 (立てハゼ葺、ステンレス防水)



防水材



■ ネオ・コートAG

用 途: 塗膜防水材
内 容: アクリルゴム系
規 格: 12kg/缶

プライマー



■ メタルプライマーF

用 途: 防錆効果付きプライマー
内 容: 変成クロロブレン系(溶剤系)
規 格: 11.2kg/セット
(10kg/缶、1kg/缶、フィライト200g/袋)

仕上塗料



■ AGトップコート

用 途: 高日射反射率仕上塗料
内 容: 骨材入りアクリル樹脂系
規 格: 12kg/缶
色 調: ホワイト、ライトグレー



■ AGトップコートN

用 途: 高日射反射率仕上塗料
内 容: アクリル樹脂系
規 格: 12kg/缶
色 調: ライトグレー

副資材

品 名	用 途	備 考
キャップマン	ボルト部成型ゴムキャップ	25、30、35、50タイプ(30個/箱)
ネオ・ジョイントテープ	キャップマン専用接着テープ 自然加硫タイプ(非露出用)	1.0mm厚×110mm幅×15m長(4巻/箱)
EUプライマー	キャップマン取り合い用プライマー	3.2kg/セット(3kg/缶+0.2kg/缶)
ネオ・シール	不定形シール材(ブチルゴム系)	330ccカートリッジ入り(25本/箱)
両面テープ(5640)	カシメ部等の増張りテープ	0.2mm厚×50mm幅×30m長(30巻/箱)

作業手順

※ボルト式折板例

ケレン清掃

メタルプライマーF塗布
(塗布量0.1kg/m²)

キャップマン取付け

カシメ部両面テープ(5640)張り付け

ネオ・コートAG 1回目塗布
(塗布量0.8kg/m²)

ネオ・コートAG 2回目塗布
(塗布量0.8kg/m²)

AGトップコート 1回目塗布
(塗布量0.4kg/m²)

AGトップコート 2回目塗布
(塗布量0.4kg/m²)



メタルプライマーF塗布状況



キャップマン取付け状況



カシメ部両面テープ(5640)張り付け状況



ネオ・コートAG塗布状況

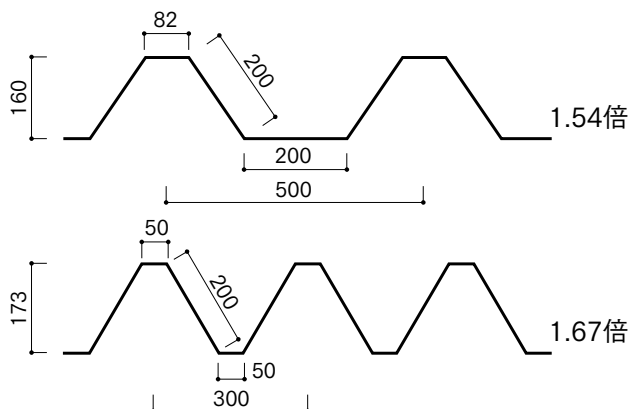


AGトップコート塗布状況

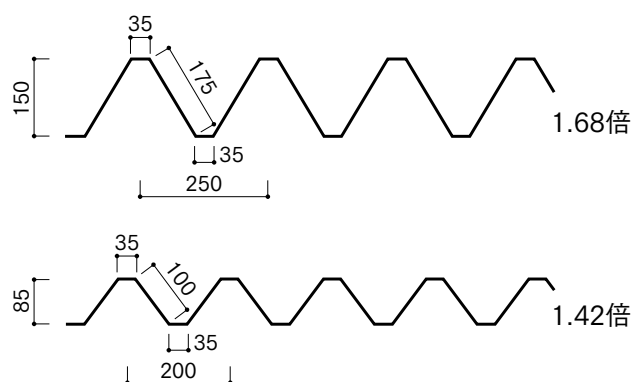
※吹付けの施工についてはご相談ください。

参考資料

代表的な金属屋根の平面積の参考倍率例



実面積は屋根の形状及び勾配により異なります。



あくまでも参考です。現場実測にて面積をご計算下さい。

性能

項 目				測定値
引張性能	引張強さ N/mm ²	試験温度	23℃	1.37
			−20℃	6.59
			60℃	0.67
	破断時の伸び率 %	試験温度	23℃	317
	抗張積 N/mm	試験温度	23℃	87
	破断時の つかみ間の伸び率 %	試験温度	23℃	190
			−20℃	40
			60℃	117
引裂性能	引裂強さ N/mm			7.2
加熱伸縮性能	伸縮率 %			-0.3
劣化処理後の 引張性能	引張強さ比 %	加熱処理		270
		促進暴露処理		146
		アルカリ処理		89
		酸処理		48
	破断時の伸び率 %	加熱処理		238
		促進暴露処理		265
		アルカリ処理		313
		酸処理		517

※上記試験はJISA6021:2011「建築用塗膜防水材」に準拠しています。(1mm厚)
本カタログに記載のデータは当社の実績値であり、保証値ではありません。

促進劣化処理後におけるネオ・コートAGの表面

促進劣化処理2500時間(屋外暴露10年相当)においても、ひび割れ等の表面異常はなく耐久性にすぐれます。

	オリジナル	1000時間 (屋外暴露4年相当)	2000時間 (屋外暴露8年相当)	2500時間 (屋外暴露10年相当)
ネオ・コートAG				

注意事項

▲ 安全上の注意事項 (各材料説明書、SDS等をお読みください。)

シンボルマーク
シグナルワード

内 容 の 基 準

- 危険** 取り扱いを誤ったときに、使用者が死亡または重傷を負う損害・危険が生じることが想定され、かつ損害・危険の可能性が高い場合。
- 警告** 取り扱いを誤ったときに、使用者が死亡または重傷を負う損害・危険が生じることが想定される場合。
- 注意** 取り扱いを誤ったときに、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

【法令上の注意事項】

- ▲ 警告 製品は消防法、労働安全衛生法、化学物質の審査および製造等の規制に関する法律の規制を受けますので、これらを理解し、安全に作業・保管を行ってください。

【施工上の注意事項】

- ▲ 警告 製品を取り扱う前に製品カタログ、安全データシート（SDS）等をよく読んで理解の上使用してください。
- ▲ 警告 防水以外の用途に使用しないでください。飲料水、食品と直接触れるような使用は避けてください。
- ▲ 警告 施工場所や材料保管場所の周囲では火気厳禁とし、火気を近づけたり火気のある場所で使用しないでください。
- ▲ 警告 高所作業の際は墜落、滑落防止のために工事現場周辺には安全柵を設け、足場を確保したうえで、墜落制止用器具などを着用してください。
- ▲ 警告 容器の取っ手は手提げ専用です。荷揚げする場合は、耐荷重のある運搬用器具（もっこ等）を使用してください。
- ▲ 注意 換気の悪い場所では、有機溶剤用防毒マスクや必要に応じて局所排気装置を設置するなど換気処置を取ってください。
- ▲ 注意 適切な保護具（防毒マスク、ホースラインマスク、保護メガネ、手袋等）を着用し作業を行ってください。
- ▲ 注意 作業時には、周囲への飛散防止対策をしてください。
- ▲ 注意 施工場所では、関係者以外の立入りを禁止してください。

【応急処置】

- ▲ 警告 飲み込んだ場合は、安静にし、直ちに医師の診断を受けてください。なお、無理に吐かせないでください。
- ▲ 注意 吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
- ▲ 注意 眼に入った場合は、速やかに流水で15分以上洗ってから眼科医の処置を受けてください。
- ▲ 注意 皮膚に付着した場合は、大量の水と石鹸で洗い流し、また大量の蒸気を吸入した場合は、安静にして直ちに医師の診断を受けてください。

【処理・廃棄時の注意事項】

- ▲ 注意 プライマー、塗料などを含む廃材を、河川、湖沼、海などへ廃棄しないでください。中身を残したままの容器の廃棄は行わないでください。液がこぼれた場合は、ウエスで拭き取るか流出しないよう砂等に染み込ませて除去してください。
- ▲ 注意 火中への投棄は行わないでください。
- ▲ 注意 取扱後は、手洗い、うがいを十分に行ってください。
- ▲ 注意 使用後の空き缶の潰し作業はあらかじめ養生してから行ってください。
- ▲ 注意 使用後の空き缶、材料の付着した手袋、ウエス、使用済みの溶剤等は専門廃棄物処理業者に処理を委託してください。

【防水層利用上の注意事項】

- ▲ 警告 防水層の表面が濡れている時は、滑りやすいので十分に注意してください。
- ▲ 警告 粗面仕上げにしている場合は、走らずに歩行には十分に注意してください。
- ▲ 警告 防水層の上や付近では、花火や焚き火を使用しないでください。

【守らない場合】

火災や吸引などにより、取扱者が死亡または重傷を負うおそれがあります。

【守らない場合】

火災や吸引などにより、取扱者が死亡または重傷を負うおそれがあります。

摂取した人が健康障害を負うおそれがあります。

火災等の事故により、取扱者が死亡または重傷を負うおそれがあります。

取扱者が墜落、滑落し、死亡または重傷を負うおそれがあります。

製品の落下により、関係者に死亡・重傷事故が発生する恐れがあります。

取扱者が製品成分を吸引し、気道に刺激が生じるおそれがあります。

取扱者が製品成分を吸引、または製品が眼に入るなどして気道や目に刺激が生じるおそれがあります。
周囲の汚染の他、周囲の人が製品を吸引し傷害を負うおそれがあります。
部外者が傷害を負うおそれがあります。

【守らない場合】

飲み込むと有害なおそれがあります。

吸入により、呼吸器系に刺激が生じるおそれがあります。

眼に入ると、眼に刺激が生じるおそれがあります。

皮膚に付着するとアレルギー性皮膚反応を起こすおそれがあります。

【守らない場合】

流出により環境を汚染し、触れた人が健康障害を負うおそれがあります。

刺激性、毒性のあるガスが発生し、人体に傷害を負うおそれがあります。
取扱者の皮膚や気道に刺激を与えるおそれがあります。
流出により環境を汚染し、触れた人が健康障害を負うおそれがあります。
流出により環境を汚染し、触れた人が健康障害を負うおそれがあります。

【守らない場合】

通行者が足を滑らせて転倒、死亡または重傷を負うおそれがあります。
通行者がつまづいて転倒、死亡または重傷を負うおそれがあります。
火災等の事故により、取扱者が死亡または重傷を負うおそれがあります。

その他の注意事項

設計と施工上の注意事項 (防水工事業者に相談し、施工仕様書等をお読みください。)

【設計上の注意事項】

防水以外の目的で使用する場合には、使用目的を事前に防水工事業者とよく打ち合わせて、仕様を決定してください。
下地の動きにより防水層に不具合が発生する場合がありますので、事前に構造等について防水工事業者とよく打ち合わせて、仕様を決定してください。
金属屋根のカンメボ、ジョイント部は、テープでの補強処理等、防水性能上必要と思われる作業をあらかじめ防水工事業者と打ち合わせをしてください。
水がたまりやすい箇所は、防水性能上不具合の発生する可能性がありますので、あらかじめ防水工事業者と打ち合わせをしてください。

【施工上の注意事項】

強風、降雨、降雪時または降雨、降雪が予想される場合や降雨、降雪後で下地が未乾燥の場合は、施工を中止してください。
外気温が5℃以下の場合は、施工を中止してください。製品の保管についても、凍結させないように注意してください。
現場で混合するタイプの製品は、定められた混合比率を守ってください。他の製品と混合しての使用は、接着不良等の不具合が生じるおそれがあります。
製品を小分けして使用する場合は、事前によく攪拌してください。製品が分離していると期待の性能が得られないおそれがあります。
下地の凸部や突起物は、サンダー等を用いて平滑にしてください。
下地の錆による穴等は、あらかじめ板金等で補修をして平滑にしてください。

防水層利用上の注意事項

防水層の上に油・酸等の腐食性の液体や、化学薬品・ガソリン・灯油・塗料・溶剤・肥料等をこぼさないでください。またダクトや煙突からのミスト、油煙等の混じった排気がかからないようにしてください。防水層が変色・膨潤・劣化して、防水機能を損なうおそれがあります。
防水層の上での運搬作業や、設計時の想定を超える重量物の設置は避けてください。重量物による防水層の変形や損傷のおそれがあります。
防水層の上に設備等を置く場合は、接地部をゴム板などで保護・養生してください。防水層に損傷を与えるおそれがあります。
防水層の上で作業する場合には、ベニア板等で養生してください。カッターナイフ等の使用で防水層に損傷を与えるおそれがあります。
防水層を新たに貫通させるような作業・機械器具の設置は行わないでください。防水層に穴が開き、漏水するおそれがあります。釘やビスの打込み作業も行わないでください。
防水層の上での植栽は行わないでください。排水溝を詰まらせたり植物の根が防水層を損傷する場合があります。
防水層の上では、ペットを飼育しないでください。動物の爪や歯で防水層に傷がついたり、排せつ物で防水層が劣化するおそれがあります。

維持管理上の注意事項

6ヶ月毎に屋根や防水層面の清掃を行ってください。特に排水口周りや入隅部分の泥や枯れ葉等を除去してください。排水不良を生じ、漏水するおそれがあります。
定期的に次のような点検を行ってください。異常が認められた場合は施工業者に連絡し補修を行ってください。場合によっては、防水機能が失われるおそれがあります。
1. 仕上げ塗料が剥離していないか。 2. 防水層に破れや貫通穴がないか。
防水層の洗浄液には、家庭用中性洗剤以外の薬品は使用しないでください。酸・塩素系の洗剤は、防水層を変形・損傷させるおそれがあります。
防水層の洗浄には、金属ブラシや金属タワシは使用しないでください。防水層の損傷のおそれがあります。柔らかい布や雑巾で清掃し、十分に乾燥してください。
防水層に損傷を与えた場合や、防水工事部分から雨漏りが発生した場合は、速やかに施工業者に連絡ください。
仕上げ塗料は、防水層の劣化を抑制し、美観の維持・向上に効果があります。劣化状態に応じて仕上塗料の塗り替え（有償）を行ってください。



三ツ星ベルト株式会社 建設資材本部

www.mitsuboshi.com

神戸本社	〒653-0024	神戸市長田区浜添通4丁目1番21号 ☎(078)685-5770 FAX(078)685-5789
東部建築課(東京)	〒103-0027	東京都中央区日本橋2丁目3番4号 ☎(03)5202-2506 FAX(03)5202-2526
東部建築課(名古屋)	〒485-0077	小牧市大字西之島1818番地 (三ツ星ベルト株式会社 名古屋工場内) ☎(0568)41-7600 FAX(0568)41-7601
西部建築課(神戸)	〒653-0024	神戸市長田区浜添通4丁目1番21号 ☎(078)685-5791 FAX(078)685-5789
西部建築課(広島)	〒738-0004	広島県廿日市市桜尾2丁目2番39号 ☎(0829)32-9292 FAX(0829)32-9294
西部建築課(四国)	〒769-2401	香川県さぬき市津田町津田2893番地 ☎(0879)42-3189 FAX(0879)42-2295
西部建築課(福岡)	〒812-0888	福岡市博多区板付1丁目3番1号 ☎(092)441-4453 FAX(092)451-7186
札幌営業所	〒062-0902	札幌市豊平区豊平2条3丁目1番17号 ☎(011)841-9131 FAX(011)812-9370

- ①最新のカatalogかどうか、お確かめください。
- ②ご不明の点がありましたら、上記までお問合せください。
- ③お断りなく、記載内容を変更する場合があります。
- ④本カatalogの一部または全部を複写、複製、改変することは形態を問わず禁じます。



この印刷物は環境にやさしい植物油
インキを使用して生産しております。